



がづの**市議会**だより



5月24日の「鹿角市植樹祭」へ参加しました

5月定例会の概要、議会改革検討委員会の設置	2
一般質問に4名が登壇	3
委員会審査ズームアップ	5
議案審議結果一覧、平成28年度政務活動費報告	6

平成29年度一般会計補正予算、湯の駅おゆ条例を可決

平成29年第3回定例会が5月12日(金)から6月1日(木)までの21日間の日程で行われ、報告5件、諮問1件、議案11件が上程され、いずれも原案のとおり適任・同意・可決し、議員提出議案1件についても、原案のとおり可決しました。

○固定資産評価審査委員会委員

齊藤 策徳 氏 (再任)

土舘 和子 氏 (再任)

議案の主な審議内容

第3回定例会に提案されました議案等の審議結果につきましては、6ページに掲載しております。

一般会計補正予算(第2号)

花輪ばやし屋台の格納庫の建設に関する、建設に至った経緯、事業内容について伺う。

今定例会において、適任、または同意された人事案件は、次のとおりです。

質問

道の駅あんたらあ

答弁

道の駅あんたらあは、展示室内にて屋台の修復作業を予定しておりましたが、薬剤等を使用することから、展示室を閉鎖しなければならなくなるため、新たに格納庫を建設し、修復作業をすることとしたものであります。

人権擁護委員

沢田 正 氏 (十和田 再任)

黒澤 一夫 氏 (議会選出 再任)

監査委員

田中 喜昭 氏 (再任)

教育委員会委員

田中 喜昭 氏 (再任)

修復作業が終了した後、市の組み立て式屋台を格納するものであります。

議会へ提出された

請願・陳情審議結果

平成29年第3回定例会では、請願1件、陳情1件を審議しました。結果は次のとおりです。

請願

《採択》

◆鹿角の産婦人科医療の存続対策を求める請願

陳情

《採択》

◆免税軽油制度の継続を求める陳情

議会から

関係機関への意見書

6月1日の本会議において、議員より提出された意見書1件について、原案可決し、関係機関へ提出しております。

◆免税軽油制度の継続を求める意見書

議会改革検討委員会を設置

鹿角市議会では、広く市民の理解を得られる議会のあり方を検討・協議するため、6月1日に「議会改革検討委員会」を設置、同日第1回委員会を開催し、正副委員長を選任しました。

議会改革検討委員会

委員長 倉岡 誠
副委員長 栗山 尚記
委員 田村 富男
吉村 アイ
児玉 悦朗
館花 一仁

和井内議員辞職に伴う議会人事

4月24日に和井内貞光議員より議員辞職願が提出され、同日、議長において許可しました。

議員に欠員が生じたことから、公職選挙法により、4月27日に安保誠一郎氏が繰り上げ当選し、5月12日の本会議において、総務財政常任委員会に安保議員を選任しました。

また、田口裕議員の議会運営委員会の辞任願を議長において許可し、5月22日の本会議において、議会運営委員に戸田芳孝議員を新たに選任しました。

なお、和井内議員の辞職に伴い、本市議会選任の鹿角広域行政組合議会議員に欠員が生じたことから、5月12日の本会議において、鹿角広域行政組合議会議員に宮野和秀議員を新たに選任しました。

総務財政常任委員

安保誠一郎 議員

議会運営委員

戸田 芳孝 議員
鹿角広域行政組合議会議員
宮野 和秀 議員

永年勤続者表彰

去る5月24日(水)に開催された、全国市議会議長会第93回定期総会において、黒澤一夫議員が20年にわたり、市政の振興に尽くされた功績により表彰されました。

地域医療体制について

問 産科医療確保のために、これまでの活動に加えて、多様な手段を戦略的に実行する必要があると考えるが、計画はあるのか。

答 今年度、「秋田県医療保健福祉計画」が策定されることから、鹿角地域の分娩取扱機能が維持される内容となるよう要望してまいります。

また、医師臨床研修制度の産婦人科を必修科に戻すことについて、市長会等を通じ国に対して要望することとしております。

また、他の診療科に比べ、訴訟リスクが高いことから、リスクを軽減するための法整備等についてもあわせて要望するとともに、市出身の産科医や医師修学資金の貸与者への働きかけ等も行い、医師の確保に向けて取り組みを進めてまいります。

学校等再編計画について

問 通学校の変更により、現段階の基準では、準遠距離の通学には金銭的負担が発生する。学校再編によるこれらの負担は生徒

側に課すべきではないと思うが、考えを伺う。

答 平成28年度においても、遠距離通学者154人、準遠距離通学者157人が制度を活用しており、統合により新しく制度を活用する児童生徒につきましても、これまでと同様の基準で通学支援をしてまいりたいと考えております。

ユネスコ無形文化遺産「花輪祭の屋台行事」について

問 「花輪ばやし」を鹿角観光の目玉として効果的に活用し、通年で観光客を呼び込めるような施策が必要と思うが、考えを伺う。

答 屋台の修復作業と収納を行う格納庫を整備し、修復作業風景を観光資源の一つと捉えて誘客につなげる方策を検討するほか、まちなかへの展示方法についても、花輪ばやし祭典委員会と協議してまいります。

さらには、着地型旅行商品を造成、販売を行うほか、観光客の滞在時間の延長と地域内消費を促す取り組みについても、強力に進めてまいります。

栗山 尚記 議員
(鹿真会・公明)



質問した項目

- 地域医療体制について ■ 花輪大堰改修事業について
- 学校等再編計画について
- ユネスコ無形文化遺産「花輪祭の屋台行事」について

人口ビジョンと総合戦略について

問 人口減の抑制を実現するために、総合戦略ではどのような事業を進めているのか。また、期待する効果は何か伺う。

答 「人口ビジョン」における試算では、人口移動が均衡した場合に、人口減少のペースが一番遅く、かつ、最も早く人口構造が若返るとの結果が得られましたので、社会動態の改善による人口減少抑制と人口構造の若返り効果を強く意識しながら、戦略的に各種施策を展開しているところであります。

問 市民本位の市政運営を行うために、市はどのような方法や手段で民意の把握に努めて、市政に反映させていくのか伺う。

答 地域の声を市政に反映するため、昨年度から、要望に応じていつでもひざを交えられる「地域ミーティング」を実施し、市政への意見を直接伺う機会を設けながら、第6次鹿角市総合計画後期基本計画

に反映させることとしております。

また、市民アンケートの結果や行政評価市民会議による政策評価を実施計画の見直しに反映させるなど、社会情勢や市民ニーズの変化に柔軟に対応しているほか、「市長への手紙」などで幅広く意見を頂きながら、各種施策への反映に努めてまいります。

ストーンサークルの世界遺産登録について

問 世界遺産登録に向けての今後の日程について伺う。

答 本年3月31日付で文化庁へ推薦書素案を提出しておりますが、平成29年度の国内推薦の候補については、7月下旬頃に開催される文化審議会において決定される予定となっております。

推薦候補に決定された場合は、翌年2月までにユネスコ世界遺産センターへ推薦書が提出され、諮問機関であるイコモスによる調査及び審査が行われた後、約2年をかけて登録の可否が決定されることとなります。

児玉 悦朗 議員
(清風会)



質問した項目

- 人口ビジョンと総合戦略について ■ 市政への民意の反映について
- ストーンサークルの世界遺産登録について ■ 認知症総合支援事業について
- 中高齢者の移住定住の推進について ■ 空き家対策について
- 水田政策について ■ 投票率の低下について

男女共同参画の推進について

問 今年度、市職員の管理・監督職への女性職員登用率は何%か。また、平成32年度までの目標である30%を達成できる見通しか伺う。

答 平成29年度の管理・監督職の職員数は83人であり、このうち女性職員は20人で、登用率は24.1%であります。

平成32年度で30%とする目標にしているなかで、平成28年度以降、登用率は上昇しており、目標を達成できる見込みであります。

放課後児童クラブについて

問 花輪地区は登録者も多く、時間の延長等で職員にかかる負担が大きくなっていないか伺う。

答 登録者数が最も多い花輪地区には、2つの児童クラブを設置しており、平成28年度から夜7時まで開所時間を延長いたしました。また、支援員の総数を増員・確保し、配置の調整を行うとともに、短時間支援員の雇用によって支援員の負担軽減を図るほか、月額給与体系にするなど

処遇改善も行ってまいります。

中心市街地の活性化について

問 まちなかオフィスができ、利用者の往来で商店街に活気が生まれているとのことだが、どのような調査を行ったのか伺う。

答 まちなかオフィスでは70人を超える方が勤務しており、入居者や商店街関係者の声からも、宿泊業、飲食サービス業を中心に波及効果もたらされているものと感じております。

花輪ばやし屋台の商店街移転について

問 花輪ばやし屋台の収納庫を商店街に作り展示することとしたとのことだが、今後の計画を伺う。

答 今後の計画としては祭典委員会と協議を重ねながら、その手法について検討を進めてまいります。なお、これに先立ち、本定例会に花輪ばやし屋台の収納と修繕作業に使用する格納庫の整備工事を計上しております。

質問した項目

- 男女共同参画の推進について
- 放課後児童クラブについて
- 中心市街地の活性化について
- 花輪ばやし屋台の商店街移転について
- 障害者差別解消法について
- 18歳選挙権について



吉村 アイ 議員 (無会派)

観光について

問 昨年、十和田八幡平国立公園など8カ所を重点整備することが決定されたが、本市が独自に取り組む事業などがあるのか伺う。

答 十和田湖の玄関口である大湯温泉地区での観光拠点施設整備のほか、八幡平での自然体験イベントや観光物産展の開催、「八郎太郎号」の運行便数拡充や、登山客への自家用車配送サービスの開始など、国立公園までの主要アクセスルートにおける誘客事業を掲げております。

質問した項目

- 子育て支援対策について
- 結婚祝い事業について
- 観光について
- 交流事業について
- 観光交流課の設置について



館花 一仁 議員 (清風会)

問

駅前広場整備では、将来的な花輪線存続を含め、本市において花輪線を観光や生活の足として確保するための取り組みを行うのか伺う。

答 鹿角花輪駅は、鹿角観光の玄関口でもあることから、交通の結節点

問

2件のユネスコ無形文化遺産が登録されている国内にもあまり例がない本市の優位性をどのようにPRしていくのか。

答

「花輪ばやし」は、若者の活気あふれる賑やかな祭り囃子の響演と豪華絢爛な屋台、これに対し「大日堂舞楽」は、約1300年もの間伝承されてきた厳かな伝統ある舞楽と、それぞれ異なる魅力があり、古来の固有文化の形式を守り抜いている姿が、国内を超え世界的に評価されたことから、2つの遺産の魅力や奥深さを伝えるPR動画を作成するなど、効果的なプロモーション方法について検討することとしております。

総務財政

◇「鹿角市行政手続に

万全の体制が備わっているとの答弁がなされております。

◇平成29年度一般会計補正予算(第2号)中、まちづくり基金を活用するプレミアム商品券発行支援事業について、前回発行時の販売状況や経済効果はどのようなものであったのかた

これに対し、一昨年発行した商品券は完売し、換金率が99・85%であった。消費喚起による経済効果は1・64倍と推計しているとの答弁がなされております。

次に、本市の消防団の報酬について昨年度見直しがなされたが、その状況についてただしてあります。

また、管理体制については副市長をトップに情報管理に当たっていること、そして関与する職員の数やリスク及び対処方法等について、国に報告しております。

常任委員会審査ズームアップ

教育民生

◇平成29年度一般会計

ただしてあります。これに対し、屋台修繕の事業実施主体となる花輪ばやし祭典委員会において修繕する順番などを適正に検討し、決定しているものであります。

次に、「スポーツ交流事業」において、葛飾区交流推進事業の一環として、スペインのサッカークラブチーム「FCバルセロナ」のサッカースクール葛飾校の児童の夏合宿が本市で行われるとのことだが、葛飾区の児童と本市の児童との交流事業などは計画されています。

これに対し、サッカーに専念する形での合宿メニューとなっているものの、鹿角に来ていただくということもあり、本市の「鹿角FCジュニア」の児童との交流をメニューに入れていただいているとの答弁がなされております。

また、ほかの道の駅等では、ご当地商品がいろいろあり、当然大湯においても特徴のある商品を開発しなければならぬと考えているが、市では特産品開発への支援をしていることから、それら支援を有効に活かしながら進めていただきたいと考えているとの答弁がなされております。

産業建設

◇「湯の駅おゆ条例

◇平成29年度一般会計補正予算(第2号)中、「そば検査体制整備事業補助金」について、支援内容とそば検査体制の現状についてただしてあります。

これに対し、支援内容は検査に必要な器具購入に対し2分の1を支援するものである。飛躍的にそばの作付けが伸びたことにより検査量が多くなり、さらに米の検査とも時期が重なることから、検査に時間を要し、再度乾燥が必要となるといった事例も生じている。

このような課題を解消するため、そばを生産している6法人が共同で検査体制をとりたいとのことであり、平成21年度から「そばの里プロジェクト事業」を行ってきたが、検査器具の導入により検査にかかる諸課題の解決にもつながり、生産から検査の段階まで一貫した事業の体制が構築されるとの答弁がなされております。

また、ほかの道の駅等では、ご当地商品がいろいろあり、当然大湯においても特徴のある商品を開発しなければならぬと考えているが、市では特産品開発への支援をしていることから、それら支援を有効に活かしながら進めていただきたいと考えているとの答弁がなされております。

